



絵と作文を書いちゃいました
ジャッキ上げた車からイヤをはずし、廃液処理の様子

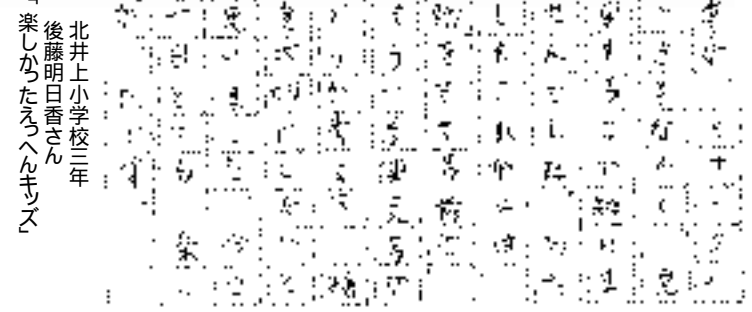


徳島新聞社広告局が企画する「マンスリーことば新聞えっへんキッズ」に応募してくれた県内各地の小学生30名が、月2日土曜日に、当社の工場見学をし、午後から、がらくたアート教室に挑戦しました。



車のリサイクル工程を見学

車がリサイクルされることを知らなかったみんな。まずは、車が積み上げられているという見慣れない状況に驚きます。中には解体するのが信じられないほどきれいな車もあって、また、びっくり、廃液が抜き取られたり、部品が回収されたりしながら、資源に変わっていく様子を熱心に見ていました。とくに、運搬しやすくするために車体をサイコロ状にプレスする場面では、メリメリと大きな音を立てながら押しつぶされ、小さくなってしまった鉄の塊を見て、あっけにとられていました。



北井上小学校 二年 後藤明日香さん
「楽しかったらへんキッズ」



車の部品を使ってがらくたアート



今回はじめて出会ってすっかり仲良しの、北島小学校3年の宮本壮一郎くん(左)と上八万小学校3年の村上史晃くん。



完成した作品をならべて参加者展覧会。もうがらくたではなく、夢がいっぱいの作品です。



板野南小学校5年の小村健人くんの作品は、シートベルトがへびになりました。口が開いてちょろっと赤い舌がリアルです。



広い会議室に広げられたブルーシートには創造力が満開。自動車の部品でなにができるのだからとの心配は、無用でした。子どもはみんな天才です。



鳴門東小学校の4年野末侑さんは、ホイールキャップをつけて、いろんな顔のあるかざりをつくりました。



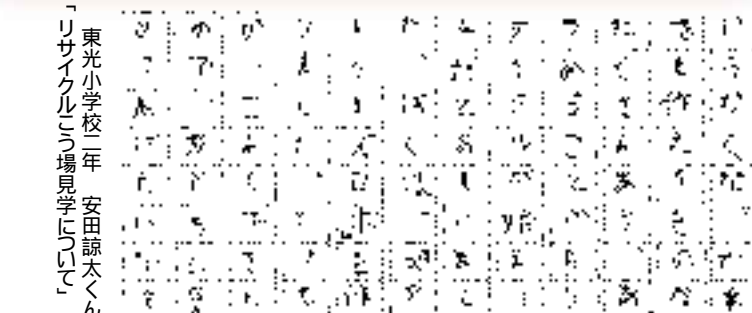
子安小学校 二年 小原千香さん リサイクルがはるるし



ロボやプレス機でプレスされた車やがらくたアートなど、楽しく描いてくれました



リサイクル工場と、車の部品が組み合わされてきた「ロボ」が今も動き出そうとしています



東光小学校 二年 安田諒太くん
「リサイクル工場見学について」



子どもたちの未来のために、もっとリサイクル

だから、次のステージへ

来年1月から自動車リサイクル法

いよいよ「使用済自動車の再資源化等に関する法律」いわゆる「自動車リサイクル法」が、来年1月から本格施行されます。これによって自動車メーカーや輸入業者は、自動車が使用済みになった場合、エアコンのフロン類を回収・破壊し、エアバッグ類やリサイクルのための解体から生じたシュレッダーダスト(リサイクルできないゴミ)を回収・再生することが法律で義務づけられたわけです。一方、自動車を利用する人はこのリサイクル費用を負担し、みんなで環境にやさしい自動車社会にすることを目的としています。三木資源もきちんとルールを守り、「もっとリサイクル」できるよう新たなスタートを切ります。



みさしけんハローマーク

ISO 9000シリーズに挑戦

昨年2月、私たちは徳島県内では業界初となるISO 14000シリーズ(環境マネジメントシステム)の認証を受け、全社を挙げて環境に対する意識を高めてきました。そして今度は、品質マネジメントシステムの構築に挑戦することにしました。環境貢献企業にふさわしい「クオリティー」を、顧客をはじめ、どの場面でどう実現するのか、新しい自動車リサイクル法にどう生かすことができるのか、さらに地域社会の一員としてどう貢献するのかを考え、行動計画を立て、実行します。小さな一歩ですが、できることから確実に進めて参ります。次の三木資源にご期待ください。

産業廃棄物収集運搬・中間処分業許可・ISO 14001 認証
三木資源株式会社

徳島市昭和町8丁目27 TEL088-622-0236 FAX088-622-0239 <http://www.sansi.co.jp/>